

政務活動費活動報告（視察）

(1) 出席者（会派名・個人名）

会派：夢みらい

赤井康彦、安藤 博、八木嘉之、小川喜三郎、夏川嘉一郎、矢吹安子

(2) 実施日：2015年7月16日（木）9：30～11：30

【1. 調査の目的】

来年平成28年10月開催の国体会場としての準備状況の視察

【2. 調査地選定理由】

(1) 調査項目

平成28年10月開催の国体会場

(2) 選定地1：岩手県北上市役所と北上陸上競技場

【3. 調査結果】

(1) 内容

「希望郷いわて国体・希望郷いわて大会」

スローガン“広げよう感動。伝えよう感謝。”

国体会場としての準備状況

1 準備体制全般の構想（構図）について。

2 準備（推進）のための組織体制作りについて。

3 予算枠は。 4 環境面での対策について。

5 交通対策について。 6 市民へのPRは。

7 県側との役割分担（連携）について。

8 国体に関わる建築物の景観上の配慮について。

(2) 考察

平成23年東日本大震災による津波被害からの復興のため、1年遅れて国体の準備委員会を設立し、常任委員会が設置されました。

次いで、平成25年8月より、県と市とが連携しながら準備が始められました。

連携の例を挙げると、27年度の競技施設の改修に必要な予算が13億8千万円ですが、そのうち県は三分の二、北上市は三分の一を負担することにしたとのことでした。

開会閉会式には、選手、監督、役員のほか、式典出演者、一般観覧者、実施本部員等も含め、全国から3万4千人、また障害者スポーツ大会には約6千百人が参集予定だそうです。

そのための交通対策は以下の通りです。

- ・開会閉会式関係の輸送は、県の実行委員会が担当し、競技会関係の輸送は市が担当する。
- ・選手・監督については、貸し切りバスかタクシーを使う。児童・生徒は計画バス、一般観覧車はシャトルバスを使うことにする。
- ・バスの確保は県全体で担当し、さらに青森、秋田にも応援を求めることにした。
- ・基本的には一般車両の会場周辺への乗り入れは、できないこととする。

環境面では、以下のように配慮されています。

- ・ごみ減量を目指し、リサイクルを徹底する。
- ・広報、市民運動として、「わんこダンス」の普及とベゴニアのプランターを県道沿いに並べ、花いっぱいをアピールする。

以上、震災後1年遅れでも県と市の連携がスムーズであり、最後の仕上げに入っている様子から、余裕があるように思いました。

彦根市では世界遺産登録との兼ね合い、陸上競技場の中にある体育センターの問題等々、県との話し合いによって、解決できる日も近いと思われます。

我々も彦根市民の一人として、43年ぶりの「第79回 国民体育大会・第24回全国障害者スポーツ大会」を成功させるため、努力してまいります。

平成27年7月29日

報告責任者：夏川嘉一郎